

令和6年（2024年）度 事業計画

令和6年（2024年）3月

数年にわたって停滞していた社会経済活動も、ようやくコロナ前の状況に戻りつつあります。

葛飾区シルバー人材センターにおいても、ここ数年、会員数、受託件数、そして契約金額ともに、前年度に比べて増加しています。

この傾向は、今後も続くと見込まれますので、シルバー人材センターが果たすべき役割や重要性は、ますます高まっていくものと考えています。

このような中、令和6年（2024年）度は、葛飾区シルバー人材センター基本計画「かつしかシルバービジョン2025」の4年目にあたります。

本計画では、5か年計画の最終年度にあたる令和7年（2025年）度の目標達成に向けて、特に、令和6年（2024年）度において取り組むべき重点項目について記載をしています。

なお、ここに記載していない事業についても、引き続き実施してまいります。全体計画の詳細については、シルバー人材センターのホームページの「情報公開」の中に「かつしかシルバービジョン2025」を掲載してありますので、それをご覧ください。

「会員だれもが健康で、生きがいを創造し、地域に貢献する、かつしかシルバー」を目指して、今後も、引き続き感染防止に努め、事業の充実、強化に努めてまいりますので、会員の皆様をはじめ関係者各位のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

1 数値目標

「かつしかシルバービジョン2025」を踏まえて、令和6年（2024年）度の数値目標は、次のとおりとします。

会員数 2,980人（令和6年3月末見込 2,950人）

うち女性会員の割合 35%（令和6年3月末見込 33%）

※東京都連合の令和6年度の本シルバーの目標は2,873人

年間就業率 79.0%（令和6年3月末見込 77%）

契約額 15.9億円（令和6年3月末見込 15.8億円）

《うち派遣金額 100万円（令和6年3月末見込 0円）》

2 重点項目

令和6年（2024年）度は、次の項目に重点的に取り組みます。

(1) PR強化

① シルバー人材センターのPR紙「シルバーカラー」の区広報紙の折込回数を年2回から4回へ増加。

令和5年（2023年）度からの継続事業。予算額約1,137万円。

② 京成バスのラッピング及び車内ステッカーによるPR強化。

令和5年（2023年）度からの継続事業。予算額約204万円。

※部分的ラッピングをフルラッピングに拡大。

③ ユーチューブ広告の配信回数の増加及びライン広告の実施。

令和5年（2023年）度からの継続事業。予算額約155万円。

(2) 会員に対する利便性の向上と福利厚生

① 会員専用サイト「スマイルトゥスマイル」を本格稼働させ、手続きの簡素化や会員に有用な情報を随時提供。

令和6年（2024年）度の新規事業。既存システムを活用するため予算は不要。なお、このサイトの登録や活用方法等については、順次、説明会を開催。

② 民間就業会員のための制服等の支給。

令和5年（2023年）度からの継続事業。予算額約250万円。

③ 自転車用ヘルメットの購入費補助を継続。

令和5年（2023年）度からの継続事業。予算額約30万円。

(3) 就業機会の拡大

① これまでの請負・委任に加えて、新たに派遣事業を実施。事前準備として、システムなどの環境整備と併せて、派遣事業への発注者及び会員への理解促進のための説明会の開催とPRを実施。

② 高齢者総合相談センターとワークス葛飾との情報共有及び連携強化。

(4) 法令や制度改正等への対応

インボイス制度や契約方法の見直し等については、国等の動向を注視しつつ、全国シルバー人材センター事業協会、東京しごと財団及び各シルバー人材センターとの連携を図り適切に対応。また、適宜、会員や発注者に情報提供。